

創部50周年記念

高松第一高等学校合唱部

第26回

定期演奏会



2002年8月21日(水)PM6:30開演

高松市民会館大ホール

主催/高松第一高等学校合唱部

■ごあいさつ

高松第一高等学校長 黒川 康嘉

本日は猛暑の中、また大変お忙しい中、高松第一高等学校合唱部第26回定期演奏会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。今年は特に創部50周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。

部員一同、これまでの歴史と伝統を踏まえつつ、更なる飛躍を期して、この日のために厳しい練習を続けてまいりました。本日は、声楽家として第一線で活躍中の卒業生、佐竹由美、伊達英二の両氏を迎えての記念演奏をはじめとする充実したプログラムによって、本校合唱部の伝統と実力を存分に味わっていただけるものと存じます。

今後とも、皆様の暖かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

高松第一高等学校合唱部 顧問 一同

本日はお忙しい中、高松第一高等学校合唱部第26回定期演奏会においでくださいますようお願い申し上げます。年一回のこの演奏会も今年で26回目、そして何より今年合唱部は創部50周年を迎えることができました。自分たちが半世紀の歴史の上に立っていると思うと身の引き締まる思いがいたします。

特に今回は50周年記念演奏として、OBとの合同合唱で「戴冠式のミサ曲」を演奏いたします。中央で活躍中の佐竹由美、伊達英二両氏を含めソリストは全員合唱部（音楽部）のOBです。現役OB一体となった演奏にご期待下さい。

さて、全国的な生徒数の減少に伴い本校でも10年前に比べると各学年3、4クラス分は生徒が減っています。しかしそんな中であっても合唱部は常時70名以上の部員数を維持、今年は1年生の大量入部のお陰で90名をこえるチームとなりました。ただ男女比は2：7と混声合唱のバランスの限界点まできています。創部51年目の来年からは混声合唱の伝統を守るための厳しい道が待っているのかもしれませんが。

最後になりましたが、この演奏会開催に際しては、寄付を下さったり、裏方でお手伝いいただいているOBの方々をはじめとして、多数の方々にさまざまな形でご援助いただいております。この場を借りましてお礼申し上げます。

合唱部部长 井上 陽介

本日は高松第一高等学校合唱部第26回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年は100人にせまる大合唱団となりました。最初は一つにまとまるのが全力で臨み、一人一人が『仲間』を意識し、理解することで、今では団結力のあるチームとなることができました。

我々合唱部で今年で創部50周年を迎えました。これまでの一高合唱部の伝統に負けないように、心を込めて歌いますので、最後までごゆっくりご鑑賞下さい。

最後になりましたが、本日の演奏会を開くにあたって、多くの方に協力していただいたことを厚く御礼申し上げます。

定演委員長 滝井 雅代

今年、創部50周年にあたり、私達3年生は最後の定演を迎えることになりました。思い返すと入部してから今までの間に、楽しかったことも辛かったこともありました。しかし、それらは全て今の私達を形づくる糧となり、更なる飛躍を促すものとなりました。この演奏会でより質の高い音楽を皆様にお届けできるよう頑張って歌います。

最後になりましたが、演奏会を開くにあたり、ご支援・ご協力下さいました方々に定演委員を代表し、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

■祝 辞

お祝いのことば

香川県合唱連盟理事長 榎 並 瑛

高松第一高等学校合唱部がこのたび創部50周年を迎えられ、第26回定期演奏会を開催されますことをお慶び申し上げます。

個人的にも、高松第一高校合唱部とはコンクールにおいて、良きライバルとして10年間おつき合いさせていただきました。当時の顧問であった木村先生、竹内先生から学ぶことが多くありました。

今回は記念のコンサートとして、モーツァルト作曲“戴冠式のミサ曲”k.317を、卒業生であり著名な佐竹由美氏、伊達英二氏をソリストに迎えられ、県内で活躍されている十河純子氏、田中雅純氏とともに、先輩とのステージが繰り広げられます。一高合唱部に新たな1ページが加わり、誠に喜ばしい限りです。

名門高松第一高等学校合唱部のますますの御発展を期待して、お祝いのことばといたします。

合唱部に栄光あれ！

元顧問 木村 明 昭

今年は合唱部（音楽部）発足50周年を迎えて、誠におめでとうございます。

私が昭和37年高松一高に赴任した当時、合唱活動は学園祭とNHK学校音楽コンクールが主な行事でした。やがて、全日本合唱コンクールが四国でも開催される事になり、松山・高知・徳島へと出場して来ました。そして各コンクールで成績を挙げ、高松市の成人式等、各種の行事に招待されました。人数も百余名となり、創始された全国高校総合文化祭に、香川県代表として全国各地へ出場しました。

昭和52年には、NHK学校音楽コンクールで待望の全国一位となり、NHKホールでOBと共に合唱し、喜びを分かち合いました。同年、東京普門館での全日本合唱コンクールに金賞を受賞し、全国に高松一高の存在を印象づけました。以後、熱心な生徒たちとともに、好成績を取って来ました。

平成2年に私は退職しましたが、諸先生の精力的な指導により、活力溢れる生徒たちが好成績を挙げ、誠に喜ばしい限りです。今後も教師生徒一丸となり、更に、前進活躍する事を祈っております。ご来場の皆様方もどうぞご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

高松一高合唱部に寄せて

元顧問 竹内 肇

1945年7月、高松大空襲で奇跡的に戦火を免れ無事だった校舎、勿論ピアノも無事であった事は言うまでも有りません。

1948年4月、初めての男女共学は高校3年から、音楽は山崎正七（しょうしち）・森本須磨子の両名の先生（写真中央）の指導のもと、初めて混声合唱団が結成されました。

当時のライバル校・高松高校は指導者の関係で混声合唱団は有りません。（女声合唱団は旧制女学校時代の1947年、関西で大活躍しました。）

大学は新設されたばかりで、音楽どころでは有りませんでした。そういう訳で当時の高松一高の合唱団は、敗戦後の香川県唯一の混声合唱団でした。

この主力メンバーが、このあとの香川大学に入学し香川大学合唱団の「いしすえ」を作りました。（窪川道夫氏の談）

1952年、NHK主催のラヂオ学校音楽コンクールが始まりましたが（今のNHK合唱コンクール）、生徒の指揮だった為か、なかなか県の代表校に選ばれませんでした。

しかし、1960年初優勝（指揮は生徒の北原しょうじ）。2回目の優勝は1972年いわゆる芸専コース時代になっていました（指揮は木村明先生）。

1974年以来3年間連続県代表校でしたが、1977年ついに全国最優秀賞に輝きました（指揮は木村先生・ピアノは1年生阿部理佳子）。なお此の年には全日本合唱コンクール全国大会にも初出場、見事金賞受賞（指揮竹内 肇）混声合唱では、名実共に高校日本一に輝きました。

つぎの年1978年、現在の先生「大山 晃」氏が新しく1年生として入学して、合唱団に入部されました。

それ以後の合唱団の活躍は、大山先生もよくご存じですので、私のお話は此処で終わらせて頂きます。



音楽部（合唱部）創立当時の部員（写真提供：窪川道夫氏）

Program

Opening

高松第一高等学校校歌
狩人アレン

堀沢 周安 作詞 船橋 栄吉 作曲
中村 仁策 作詞 伝バーセル 作曲

■ I 部 ■ 2002年ヒット曲集 (編曲: 大山 晃)

SAKURAドロップス
キヨク
君をさがしてた

宇多田ヒカル 作詞・曲
持田 香織 作詞 菊地一仁 作曲
川口 大輔 作詞・曲
恵 白根 啓司 横峰 圭
ピアノ 長川 由美

指揮 堀川

■ II 部 ■ 今年度コンクール曲より

NHK全国学校音楽コンクール課題曲
なぎさの地球
全日本合唱コンクール課題曲
少年の頃 (「5つの映像」から)

大岡 信 作詞 木下 牧子 作曲
佐藤 博美 作詞 坂田 雅弘 作曲

指揮 大山 晃 ピアノ 松野真理子

創部50周年記念演奏

■ III 部 ■ 戴冠式のミサ曲ハ長調 K.317

W・A・モーツァルト 作曲

I Kyrie
II Gloria
III Credo
IV Sanctus
V Benedictus
VI Agnus Dei

指揮 大山 晃
ソプラノ 佐竹 由美
アルト 十河 純子
テノール 伊達 英二
バス 田中 雅純

管弦楽 CM I 50周年メモリアルオーケストラ

*****休憩*****

■ IV 部 ■ 死にたまふ母

齋藤 茂吉 短歌 西村 朗 作曲

~無伴奏混声合唱のための~

《第1曲》ひろき葉は
《第2曲》玄鳥
《第3曲》葬り火
《第4曲》かぎろひの

指揮 大山 晃

■ V 部 ■ スピッツ・ソングコレクション

草野 正宗 作詞・曲
大山 晃 編曲

空も飛べるはず
チェリー
ロビンソン
楓 (かえで)

指揮 井上 陽介 ピアノ 藤本 彩織

使用オルガン ヴァイカウント・クラシックオルガンジュビレイト332 S 32 C
ヤマハ高松店提供 (店頭展示中)

■曲目解説

第1部 2002年ヒット曲集

《2002年ヒット曲集》のステージでは、宇多田ヒカルの「SAKURAドロップス」(指揮：堀川 恵)、Every Little Thingの「キラク」(指揮：白根啓司)、CHEMISTRYの「君をさがしてた～New Jersey United～」(指揮：横峰 圭)の3曲を演奏します。

「SAKURAドロップス」はドラマ「First Love」で、「キラク」はドラマ「しあわせのシッポ」で、「君をさがしてた」はドラマ「ウェディングプランナー SWEETデリバリー」でそれぞれ主題歌として使われていたものです。

どの曲もこの演奏会のために書き下ろした大山先生の新編曲で、楽譜も大山先生が作るんですが、曲数が多い、まとまった時間がない、の二重苦で1日1、2枚の楽譜ができては音取り、の繰り返しだったこともありまして。伴奏譜なんかできるのがもっと遅くて、伴奏者はみんな以上に大変な思いをしました。だから練習量が少なかったり、生徒指揮で至らない点もあると思いますが、頑張りますのでよろしくお願いします。m(- -)m (白根啓司)

第3部 モーツァルト／戴冠式のミサ曲K.317

1779年、モーツァルト23才の作品。作曲から約10年後ヨーロッパ各地でとり行なわれたレーオポルト2世の戴冠式の際記念ミサとして演奏されたことからこの名称がついた、と言われており、合唱団が取り上げる演奏会用ミサ曲の定番中の定番として、盛んに演奏されている。曲は全体に明るく祝賀的な雰囲気にあふれており、特に第6曲「アニユス・デイ」のソプラノ独唱の旋律が、オペラ『フィガロの結婚』の伯爵夫人のアリアと酷似しているなど世俗的な色彩が強く感じられ、宗教的な堅苦しさがあまりないことが、逆に一般に広く親しまれている理由の一つといえるのではないだろうか。

管弦楽は当時のモーツァルトの作品としては最大規模の編成であるが、それまでのミサと同じく弦楽器にヴィオラを欠く『ザルツブルク様式』は忠実に守られている。(大山 晃)

第4部 死にたまふ母～無伴奏混声合唱のための～

近代日本を代表する歌人、斎藤茂吉が大正2年に発表した連作短歌「死にたまふ母」は近代挽歌の絶唱とたたえられる名作だが、この連作59首すべてに曲をつけたのがこの合唱作品である。作曲者の西村 朗は海外の作曲コンクールにもたびたび入賞し、国際的に知られた現代音楽の作曲家で、この作品は2000年に作曲・初演されている。

全59首の短歌は4つの章に分けられ、第1曲では母重病の報に接しての帰郷、第2曲では、母の死、第3曲では火葬、第4曲では悲しみを抱いての酢川温泉滞在、それぞれの時点での心境が、現代的な不協和音や跳躍音程、日本的な旋律や和声などを組み合わせながら巧みに描かれている。

文語体・不協和音・無伴奏と、生徒にとって取り組みにくい要素が多く、やる、と決めるまでにはかなり悩んだが、生徒は案外抵抗なく作品の持つ世界の中に浸っているようだ。この曲の持つ、人間の声でしか表現し得ない美しさが伝わるような演奏ができれば、と思うのだが果たして……？ (大山 晃)

第5部 スピッツ・ソングコレクション

みんなで意見を出し合った結果、今年の最後のステージはスピッツ・ソングコレクションになりました。指揮をする立場として最初は詩の解釈が難しかったけど、練習を重ねていくうちにだんだんとスピッツの歌詞の世界に共感できるようになりました。僕たちの感じたすべてが皆さんに伝わるよう心をこめて演奏します。

「空も飛べるはず」……自由に空も飛べると思ってしまうくらい奇跡のように素敵な出会いでした。この喜びを軽やかに若々しく伝えます。

「チェリー」……………失恋でしょうか。しかし今でも好きなんです。いつかまた会いたい抑えきれないこの気持ちを明るく伝えます。

「ロビンソン」……………ロマンチックです。幻想的な歌詞の中にもどこか漂う哀愁を涼しく伝えます。

「楓(かえで)」……………最後に相応しいこの曲は、メロディーもピアノもきれいです。歌詞を注意して聴いてください。なぜか悲しくなってきます。

さて、プログラムはこれで終わりですが、アンコールもご期待下さい。(井上陽介)

■50周年記念演奏出演者プロフィール



ソプラノ 佐竹 由美

高松第一高等学校を経て、東京芸術大学に入学、同大学院修了。現在、同大学院博士課程在籍中。声楽を竹内肇、中村義春、嶺貞子の各氏に師事。東京芸術大学を主席で卒業し、皇居にて御前演奏の栄を授かる。第53回日本音楽コンクール第2位受賞、同時に最優秀者に贈られる福沢賞受賞。国際ロータリー財団奨学生としてイタリアへ留学、V・ボッローニ氏に師事。またシュトゥットガルトにてバッハを中心とした宗教作品をA・オジェー、H・リング氏に師事。ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞。第8回バッハ国際コンクール(ライブツィヒ)第4位入賞(1位なし)。

バッハの受難曲、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、モーツァルト「ミサ曲」「レクイエム」などの宗教作品、オラトリオのソリストとして常に高い評価を得る。オペラにおいても「魔笛」「後宮からの逃走」「山椒太夫」等、二期会、東京室内歌劇場、日本オペラ協会、ボン市立歌劇場などの公演に主要キャストとして出演し、指揮者・演出家からも高い信頼を得る。現代音楽作品、日本歌曲のコンサートにも数多く出演し、その確かな技術に支えられた透明感の高い美声と、曲全体の構成の把握、洗練された歌唱に対しては、国内外で既に定評を得ている。1999年度よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。二期会会員、東京室内歌劇場会員。



アルト 十河 純子

高松第一高等学校音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。川田景樹、大山晃、中村義春、毛利準の各氏に師事。平成7年着任、合唱部顧問となる。

東京芸術大学卒業演奏会、丸亀文化祭“毛利準氏を迎えてのVocal Concert”、四国二期会ガラコンサート、コレギウム・ムジクム高松の演奏会等、多数の演奏会に出演している。オペラでは、四国二期会において「四人の頑固者」の召使役、「脳死をこえて」の腎臓病の青年の姉役、「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナ役、「ヘンゼルとグレーテル」のヘンゼル役にて出演。

香川芸術フェスティバル「黒蜥蜴」の黒蜥蜴役にて出演。現在、高松第一高等学校音楽科教諭、合唱部顧問。四国二期会会員。



テノール 伊達 英二

高松第一高等学校を経て、国立音楽大学卒業。第19回ジローオペラ賞新人賞受賞。83年「マハゴニー市の興亡」のジムで主役デビュー。その後「椿姫」アルフレード、ドン・ホセ、ピンカートン、「神々の黄昏」ジークフリート、「ワルキューレ」ジークムント、「妖精」アリンダル、「さまよえるオランダ人」エリック、「リエンツイ」リエンツイ等出演、絶賛を浴びる。また、シオスタコーヴィチ「ムツェンスクのマクベス夫人」セルゲイ、ヤナーチェク「イエヌーファ」ラツァ役でさらにレパートリーを広げ、その演奏とともにロシア語、チェコ語の発音が絶賛を浴びた。第九、メサイア、

天地創造、千人の交響曲、大地の歌、ヨハネ受難曲のエヴァンゲリスト、春の交響曲、レクイエム、荘厳ミサと、古典から現代まで卓越した演奏で表現し、内外の指揮者の信頼も厚い。最近ではオペラ「支倉常長」の宣教師役が記憶に新しい。司会や吹き替え、ナレーターもこなすなど活動範囲は幅広い。現在、東京音楽大学講師、二期会会員。高松第一高等学校音楽科招聘講師。



バス 田中 雅純

高松第一高等学校を経て、国立音楽大学卒業。田口興輔、A.ポーラ、G.ライモンディ、中村義春、川田景樹、大西昇の各氏に師事。

四国二期会香川支部オペラ「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「カルメン」「那須与一」「奥様女中」「コシ・ファン・トゥッテ」「四人の頑固者」等出演。愛媛支部で「コシ・ファン・トゥッテ」、高知支部、徳島支部、中国二期会で「魔笛」「カルメン」、グループグッチ高松オペラ公演で「ラ・ボエーム」等出演。コレギウム・ムジクム高松でバッハのミサ、カンタータ、ヘンデルのメサイア等のバスソロに出演。95年サンタ・マルゲリータ国際オペラ

芸術コース受講、修了オペラ公演で「椿姫」に出演。昨年の香川芸術フェスティバルオペラ「黒蜥蜴」には明智小五郎役で出演。現在、香川短期大学助教授。四国二期会会員。グループグッチ高松代表。



指揮 大山 晃

高松第一高等学校を経て、東京学芸大学教育学部D類音楽科卒業。声楽を中村義春、竹内肇の各氏に、指揮を伊藤栄一氏に師事。

平成元年に高松一高に赴任してから今日まで合唱部(音楽部)の顧問を務め、全日本、NHK両合唱コンクールにおいて全国大会に常時出場。木村・竹内時代からの伝統を継承する生え抜きOBとして今後の活躍が期待されている。また定期演奏会のたびに書き下ろす合唱編曲には定評があり、他団体でも頻繁に取り上げられている。

現在、高松第一高等学校音楽科教諭、合唱部顧問。高松交響楽団、コレギウム・ムジクム高松各指揮者。四国二期会会員。

管弦楽 CM1 50周年メモリアルオーケストラ

今回の演奏会のために組織された特別編成のオーケストラ。メンバーは本校音楽科の弦楽器専攻の現役生徒、本校職員、本校吹奏楽部OB、高松交響楽団をはじめとする一般音楽団体の有志、プロの演奏家などさまざまである。

コンサートマスター	石原 崇子 (大阪シンフォニカ)		
第1ヴァイオリン	漆原 舞 北村 謙次 桑原 由江 新川 修司		
第2ヴァイオリン	地行 美穂 山本志津子		
	安藤 博文 熊澤麻理子 神山 素子 竹内亜紀子		
	中馬由美子 松本 知子		
チェロ	荒木 誠一 片山 智夫 榎本 歌織		
コントラバス	伊藤 理沙 尊藤 昌美 永井 優子		
オーボエ	加藤 千晶 山口 博子 ファゴット	三木 千津	
ホルン	清水 香織 矢野 秀一 トランペット	大藪 聖司 鍋坂 憲男	
トロンボーン	廣瀬 貴雄 真砂 美輪 村山 修一		
ティンパニ	何森 博子	オルガン	三好 晶子

■出演者・顧問プロフィール

顧問・ピアノ 松野 真理子

香川県立坂出高等学校を経て、愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。昭和56年に赴任と同時に合唱部顧問となる。

高校時代は合唱部に所属し、歌うのが大好きだとおっしゃる松野先生は、わが一高合唱部のお母さんの存在です。想像通りの優しい音楽を奏でる先生ですが、激しい曲もお似合いです。今夜はどんな先生にお会いできるのでしょうか？

顧問・オルガン 三好 晶子

高松第一高等学校を経て、武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。平成6年から顧問を務めているが、それ以前からピアニストとしてコンクールや定演のステージに参加。

去年、男の子が生まれたばかりの三好先生。とてもかわいらしいそうです。今年の5月から職場復帰されました。現在は音楽科の1年生の担任をされています。三好先生は、いつも笑顔のかわいらしい先生です。

指揮 堀川 恵

現在、高松第一高等学校音楽科3年。ラブリー♡チャーミーで感激屋さんで、チーズが好きで、いつも一生懸命な恵ちゃん☆そんな彼女が今日は指揮をします。彼女が大好きなチーズのように皆様の心をとろけさせてくれるでしょう！

指揮 白根 啓司

現在、高松第一高等学校普通科3年。彼はけっこう遅刻が多く、朝練も休みがち、面倒臭いことはやらないのが彼のモットーですが、責任感は一倍感強く、今日は指揮の役目を自らかってきました。今日のために血の滲むような努力をしてきた彼です。彼の熱い指揮に酔いしれて下さい。

指揮 横峰 圭

現在、高松第一高等学校普通科3年。横峰君は夏の暑い時や冬の寒い時に動かなくなってしまう部員たちをやる時にはやる彼の気質でピシッとまとめてくれます。協力して一つになるという彼の目標通りいつも部員1人1人の気持ちを考えてくれるとても良い先輩です。

指揮 井上 陽介

現在、高松第一高等学校普通科3年。合唱部部长。彼は、合唱部員で、男声で、K道場に通っていて、一高生で、普通科で、運動部っぽくて、でも実は文化部で、恥ずかしがり屋さんで、大胆不敵で、部長で、Sプラノには頭が上がりなく、かよわいけど強くて部長でした。

ピアノ 長川 由美

現在高松第一高等学校普通科3年。名ピアニスト由美ちゃんは、感性豊かで、みんなから親われる存在です。その奏でるメロディーは天下一品!!周りの人を幸せにしてくれます♡今宵も会場の皆様をしあわせあふれる由美ワールドへご案内いたしましょう。

ピアノ 藤本 彩織

現在、高松第一高等学校普通科3年。彩織ちゃんはいつもニコニコ☆笑顔がステキなほんわかさんです。スノービーが大好きで、スターウォーズにハマっています♡彩織ちゃんの奏でるピアノの音色といたら…もうメロメロです!!今夜はこんな彩織ちゃんの素敵なピアノをお楽しみ下さい。

■パート紹介

● Soprano ●

ソプラノいきます！

はじめまして『若い』1年生デス☆なんと今年の1年生は20人!!若い上にこの人数。つい騒ぎまくって何回久美子先輩を泣かせたコトか!!いや、泣くような人じゃないけど(笑)。とにかく今日は若さ溢れるガッツで頑張りマス!!

私達2年生は、超~元気っ子!!たまにヤミキャラ炸裂。ソプラノの2年は、さっささきまりあみなあいこかづよけいちゃんえりなサロメの9人です。待ちにまった最後から2番目の定演♡今日も仲良くがんばって、感動の嵐巻き起こします!!中華万歳!!

そして3年生。美白ののり、遅刻常習犯のもりた、暴走すると止まらないたっきー、笑いまくるぎよろ、ソプラノ生活指導係のとも、テノールには厳しくも優しいゆみ、お笑い大好き♡あすみ、スタイル良すぎなたね、たまに抜けてるけどキレると怖い(?)くみ…の9人です。

今年は人数も多く大変でしたが、練習の成果が出せるようがんばるので最後までお楽しみ下さい!!

● Alto ●

1年 CMI万歳☆いくよ モーツァルトに感謝♪植松ちゃん メロンパン大好き☆佳織 50周年すごい!みか アルトと部長と先生と。ゆうこ 合唱部もりもり1年生☆あつきー 春の隅田川最高★うらら キャラメルで美声♪ぐりこ 全力でいきますので☆にんにくモンロー 『合唱一揆』モンゴル 最高の合唱!!咲 燃えます!歌います!トンティー チェリーが大好き☆佳央里 「どーもー…とつよし」スーさん 「どーもー…とこういち」ロビン 青春の1ページ!!さゆっぺ ざっくばらん☆☆☆あほいちゃん 暑さで死にたまふ私。裕子

2年 artisticゆっこ ひーかはうたうよどまでも☆ First Nationなゆつ ゆげりん:堂本剛大好き Iらぶ合唱♡みき VIVA合唱部だい★あら よどりん=愛のかたまり 合唱部最高☆がんばります!さおり♡ 歌はスマイルで☆みい aiko系だぜい♡カワちゃん 夏大スキ!燃えるよ♡サオリ(なべ) 合唱部Forever☆みみず??朝練がんばります☆まめ

3年 がんばって歌います!きもも 睡眠と食事は大切です。ムーミン CMIらぶ♡♡もち ラブあきら♡♡りょーこ☆ アルト大好き♡合唱部大好き♡けい☆

● Tenor ●

僕達テノールは、3年生4人、2年生3人、1年生4人という比較的バランスのとれたパートデス☆では、Tenの特徴を述べます(>_<)

Tenは女性に比べて人数が少ないので、一人一人の声量が大さい!さらに部内一うるさいパートだけど、そのためのムードメーカーも多くそろっています。でも逆にそのせいで時々場の雰囲気をつかめない不思議ワールドが発生します(爆)

Tenというパートはイケメン、おもしろキャラ、歌が上手いキャラ、ハジケキャラなどや、はたまた不思議キャラ、天然キャラ、微妙キャラが絶妙にマッチして成立しているのです!!!

今日は1年にとって、初めての、3年にとっては最後の定期演奏会です。やってやります!!必ず大成功をおさめてやります!!

また、今年は音楽科が少ないけど、僕らは頑張って全国大会に行けるように日々練習しています。

まだまだ失敗の多い僕らですが、どうかこれからの合唱部を、そしてTenパートの応援を宜しくお願いします☆

☆Ten一同☆

● Bass ●

取扱説明書(劇業につき注意)

<効能>響き渡る低音による、皆様のちょっとした疲労の回復

<用法・用量>2002年8月21日午後6時30分から耳を傾けてみてください。

<成分・分量> Bass10名中:何ともない3年生(4名)三木ひかりな2年生(1名)見でのとおりの前途を囑望された1年生(5名)

<注意>普段は各成分完全に遊離していますが、歌う時だけはしっかりまとまります。

<製造元>今年ピアノを弾きにきてくださっているAltoの2、3年生の方々。

■History 合唱部(音楽部)の歩み■

年 度	定 期 演奏会	N H K 全国学校 音楽コンクール	全日本 合唱コンクール	全 国 高 校 総合文化祭	備 考
1952		音 楽 部 創 立			木村教諭着任 (1962) 竹内教諭着任 (1970)
1974			四国大会金賞		第1回南九州演奏旅行
75		全国大会出場	四国大会金賞		
76	サマー コンサート	香川1位・ 四国大会出場	四国大会金賞		第2回南九州演奏旅行
77	1	全国大会最優秀賞	全国大会金賞 (東京)	1回千葉	N H Kホールにて最優秀 校演奏会に出演
78	2	香川1位・ 四国大会出場	全国大会優良賞 (函館)	2回兵庫	第3回南九州演奏旅行
79	3	香川1位・ 四国大会出場	四国大会金賞	3回大分	定演に岡本仁氏客演指揮
80	4	全国大会出場	四国大会金賞	4回石川	第4回南九州演奏旅行
81	5	四国大会出場	四国大会金賞	5回秋田	松野教諭着任
82	6	四国大会出場	四国大会金賞	6回栃木	
83	7	全国大会出場	四国大会金賞	7回山口	
84	8	全国大会出場	全国大会優良賞 (大阪)	8回岐阜	全日本コンクールA B部 門別に
85	9	全国大会出場	全国大会銀賞 (長野)	9回岩手	
86	10	四国大会出場	全国大会銅賞 (松山)	10回大阪	
87	11	四国大会出場	全国大会銀賞 (東京)	11回愛知	置県100年記念行事 参加
88	12	四国大会出場	全国大会優良賞 (新潟)	12回熊本	
89	13	香川1位・ 四国大会出場	全国大会銅賞 (福岡)	13回岡山	大山教諭着任 木村教諭退職
90	14	全国大会銅賞	全国大会優良賞 (札幌)	14回山梨	竹内教諭退職
91	15	四国大会出場	全国大会金賞 (岡山)	15回香川	花崎教諭着任 全国総文祭総合開会式参加
92	16	四国大会出場	全国大会銅賞 (仙台)	16回沖縄	
93	17	全国大会銅賞	全国大会銅賞 (大阪)	17回埼玉	東四国国体式典参加
94	18	香川県大会銀賞	全国大会銅賞 (金沢)		秋山教諭着任 ねりんピック香川式典参加
95	19	全国大会日本放送 協会会長賞	全国大会銅賞 (高松)	19回新潟	砂金教諭着任
96	20	四国大会銅賞	全国大会銅賞 (京都)		国民文化祭とやま合唱の 日参加
97	21	四国大会銀賞	四国大会金賞	21回京都	国民文化祭かがわ総合開会式参加 花崎教諭離任
98	22	全国大会奨励賞	全国大会銅賞 (浜松)		四国98総体総合開会式参加
99	23	四国大会銀賞	全国大会銅賞 (岡山)	23回山形	中四国音研研究演奏参加
00	24	全国大会奨励賞	四国大会金賞	24回浜松	
01	25	四国大会銀賞	全国大会銅賞 (名古屋)		
02	26	四国大会出場予定	四国大会出場予定	26回神奈川	創部50周年記念演奏会

Members

顧問 大山 晃
松野 真理子
三好 晶子
十河 純子

部長 井上 陽介
副部長 長川 由美
宮武 遼子
定演委員長 滝井 雅代

パートリーダー
Soprano 森 久美子
Alto 堀川 恵
Tenor 横峰 圭
Bass 大木 光徳

出演者

Soprano

3年 ○滝井 雅代(太田) 長川 由美(玉藻) 種田 ゆか(太田) ○古市 昌子(牟礼)
森田 諒子(桜町) 魚路 友美(屋島) 谷口 智子(光洋) 坂東あすみ(香川一)
森 久美子(木太)

2年 大河原沙紀(志度東) 河合真理愛(太田) ○植村 佳(三木) 赤松加朱代(附属高松)
中川亜依子(附属高松) ○寺尾沙希子(志度) ○徳井えりな(綾歌) 松奥 三奈(大川)

1年 ○八十川佳子(桜町) ○坂口 美央(玉藻) ○眞田優美子(津田) 齋藤花往里(附属高松)
○野田 彩(桜町) ○住岡 千香(附属高松) 井上 真里(香東) 岩村明日嘉(桜町)
小松麻里乃(津田) 高橋 真菜(桜町) 平井美千子(三木) 矢野 仁美(古高松)
○高橋 直子(古高松) 吉川さくら(桜町) 愛染沙美歌(協和) 熊澤麻理子(香川一)
佐々木千尋(綾南) ○南埜 文(木太) 松永 南(紫雲) 米光 優(紫雲)

Alto

3年 宮武 遼子(国分寺) 藤本 彩織(古高松) 木本 翠(古高松) 高橋 由美(下笠居)
堀川 恵(塩江)

2年 池田 静香(天王) ○佐々木 静(香南) 荒木由希子(屋島) 淀 裕美子(光洋)
○平井美樹子(庵治) 弓削 沙織(木太) ○米田 沙織(志度) 塚原 美紀(牟礼)
河田 美香(太田) 鍋井 沙織(天王)

1年 江崎加奈子(志度) 岸本佳央里(太田) ○武井 祐子(光洋) 竹内 章子(光洋)
○清水 裕子(附属高松) 大谷咲裕美(城内) ○岡本 郁美(志度) 岩村 英莉(香川一)
植松 香織(屋島) ○大竹 葵(屋島) 川村 美架(香川一) 木本 麗(古高松)
仲田 妃那(古高松) 西山 佳織(桜町) 池田 慧(古高松) 岡田 朋子(城内)
○山口めぐみ(屋島) 大森 咲(池田) 白川夢詩花(附属坂出)

Tenor

3年 田中 詩朗(津田) ○水主 雄大(香東) 白根 啓司(附属高松) ○横峰 圭(綾南)
2年 藤本 尚志(香東) 大藪 誠士(満濃) 中山 翔(桜町)
1年 ○杠 武彦(紫雲) ○多田野益生(紫雲) 川崎 剛史(紫雲) ○渡邊 慧(牟礼)

Bass

3年 大木 光徳(木太) 山内 貴司(附属高松) 井上 陽介(附属高松) 鳴瀬 弘喜(古高松)
2年 三木 喜弘(附属高松)
1年 久保 雅嗣(玉藻) 田中 直樹(香南) 本澤 北斗(桜町) 横井 慎也(三木)
大塚 祐司(牟礼)

○印は定演委員、()内は出身中学校

OB出演者

Soprano 漆原 千枝(7) 小比賀美紀(3) 金木美沙枝(9) 高嶋 留美(2)
長井 郁子(53) 永本さおり(2) 原瀬 文子(53) 宮武 寛子(9)

Alto 伊賀ゆう子(8) 河北 杏子(13) 川田 利恵(8) 富家久美子(7)
古田 雅子(7) 村川 和美(8) 吉田 有香(7) 吉田有加里(12)

Tenor 植田 浩史(62) 木下 政央(10) 中西 隆政(7) 林 広大(10)
堀田 典明(51) 吉田 雄高(13)

Bass 石原 修(63) 加藤 晃一(10) 木村 元(11) 土居 健太(10)
中村 将人(13) 真鍋 裕(9) 溝淵 純(55)

()内は卒業年度